The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	大阪大学 日本学報　第33号　編集後記／奥付
Author(s)	
Citation	日本学報. 2014, 33
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/27053
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

編　集　後　記

『日本学報』第33号をお届けします。

本号には、２つの特集を掲載することができました。それぞれ異なる脈絡の中で構想された企画でしたが、こうして合わせてみると、期せずして、いろいろな重なりや広がりの所在を想起させてくれるように思います。

私事で恐縮ですが、私は本号の編集に強い思いがありました。2012年秋、出勤中に発作があり、阪大病院に救急車で入院しました。脳卒中でした。落ちついた後、学務に徐々に戻るなかで、私は、この特集①をまとめること、そして『日本学報』第33号を予定通り刊行することを、2013年度の教育研究の軸のひとつとしようと思い立つようになりました。この作業を行うことによって、心身のリハビリに繋ぎたいという思いでした。

自身の状態には相変わらず浮き沈みがありますが、いま、当初に立てた目的を果たすことができて本当にうれしく思っています。さまざまな形でサポートしてくださったすべての方々に心よりお礼を申し上げます。

末尾になりましたが、悲しいお知らせを記さなければなりません。2013年6月23日、かねてより闘病中であった博士後期課程在籍の柿田肇さんが逝去されました。宝塚歌劇をはじめ阪神間の文化、社会、歴史について多彩な関心を抱き、調査研究を進め、またその見識を惜しみなく研究室のメンバーと積極的に共有された柿田さんのしなやかなスタイルは忘れられません。心よりご冥福をお祈りいたします。　（杉原　達）

日　本　学　報　第33号

2014年３月13日　印　刷
2014年３月15日　発　行

編集者　大阪大学大学院文学研究科日本学研究室
印刷所　株式会社ケーエスアイ
発行者　大阪大学大学院文学研究科日本学研究室
（〒560-8532）大阪府豊中市待兼山町１－５
電話　（06）6850－6111（内線5135）